

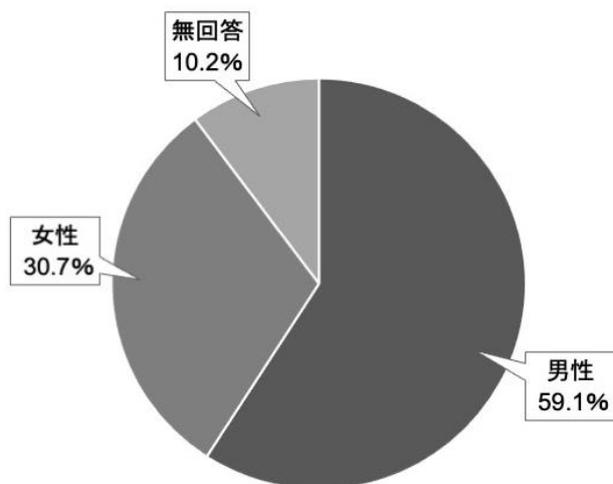
2021 年度
歯学部
新入生アンケート結果

実施日時：2021 年 4 月 3 日（土曜日）

対象人数：2021 年度 歯学部新入生 128 名

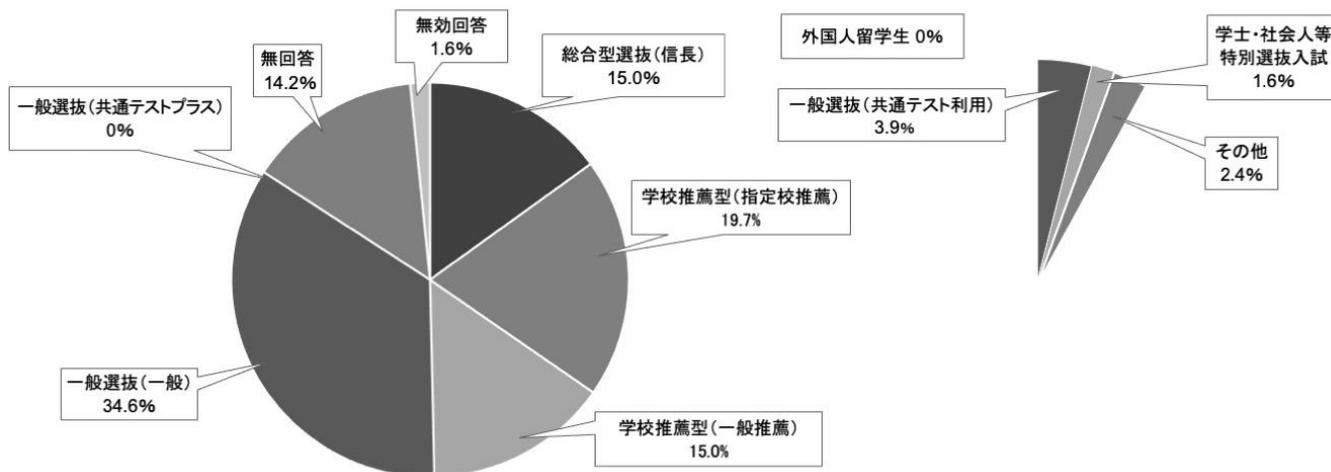
回収数（率）：127 名（99.2%）

質問 1. 性別



男性	女性	無回答	合計
75人	39人	13人	127人
59.1%	30.7%	10.2%	100%

質問 2, 3. 入試区分



質問 2. 入試区分

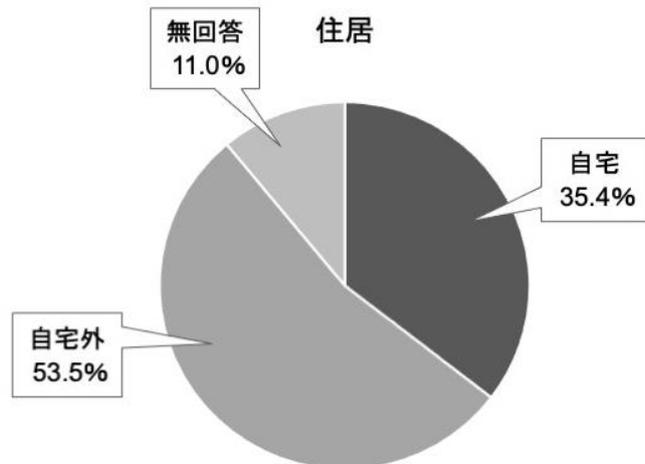
総合選抜型 (信長)	学校推薦型 (指定校推薦)	学校推薦型 (一般推薦)	一般選抜 (一般)	一般選抜 (共通テストプラス)	無回答	無効	合計※
19人	25人	19人	44人	0人	18人	2人	127人
15.0%	19.7%	15.0%	34.6%	0%	14.2%	1.6%	100%

質問 3. 入試区分 (続き)

一般選抜 (共通テスト利用)	外国人留学生	学士・社会人等 特別選抜入試	その他 (帰国生徒等)	無回答 (該当なし)	合計※
5人	0人	2人	3人	117人	127人
3.9%	0%	1.6%	2.4%	92.1%	100%

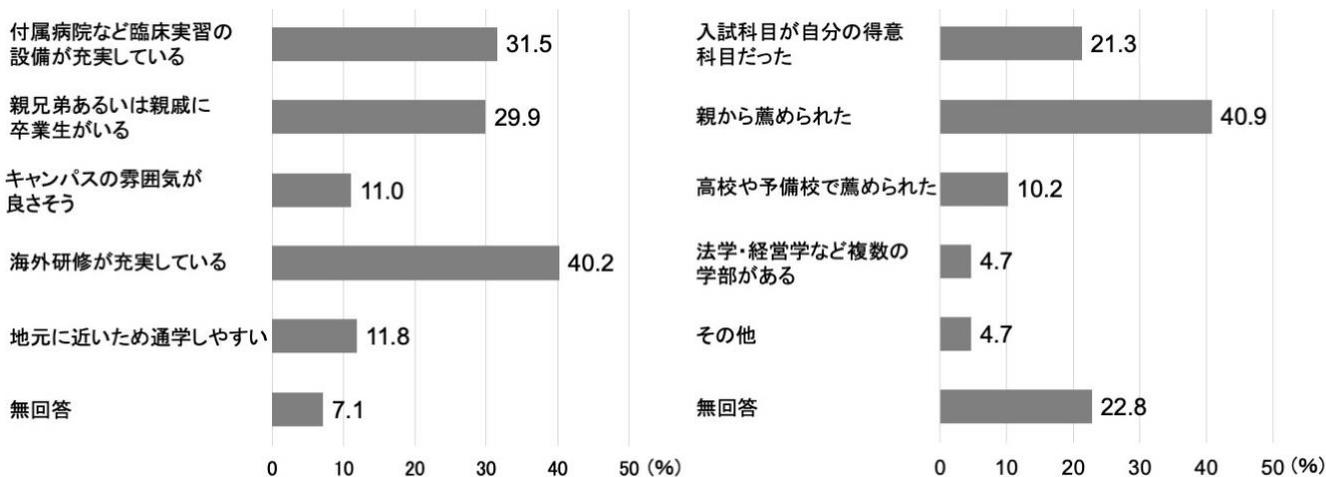
※ 12名が複数回答していた。

質問 4. 住居



自宅	自宅外	無回答	合計
45 人	68 人	14 人	127 人
35.4%	53.5%	11.0%	100%

質問 5, 6. 朝日大学歯学部への入学を決めた理由※（2 つまで回答可）



質問 5.

※ 割合はアンケート提出者数(127 人)を分母として計算した。

付属病院等臨床施設の充実	親兄弟、親族に卒業生がいる	キャンパスの設備や雰囲気	海外研修制度が充実している	地元近く通学しやすい	無回答	合計※
40 人	38 人	14 人	51 人	15 人	9 人	167 人
31.5%	29.9%	11.0%	40.2%	11.8%	7.1%	

質問 6. (続き)

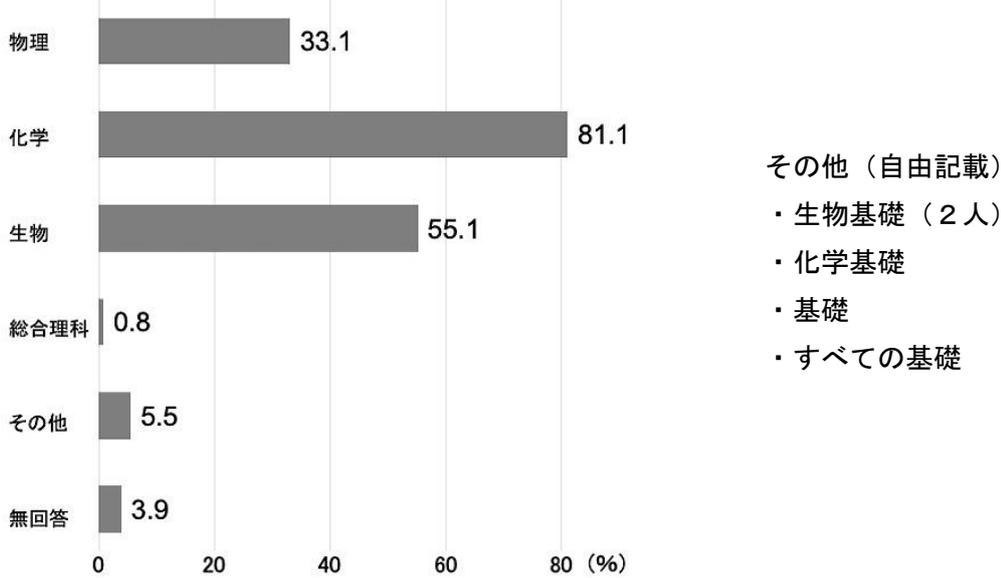
※ 割合はアンケート提出者数(127 人)を分母として計算した。

入試科目が自分の得意科目だった	親から薦められた	高校や予備校で薦められた	法学・経営学など複数の学部がある	その他	無回答	合計※
27 人	52 人	13 人	6 人	6 人	29 人	133 人
21.3%	40.9%	10.2%	4.7%	4.7%	22.8%	

質問 6. 入学を決めた理由（その他：自由記載）

- ・他の私立大学より学費が安かったから。（2人）
- ・融資制度が良かったため。
 - ・総合大学だから。
- ・友人が通っている。
 - ・友人が卒業しているから。

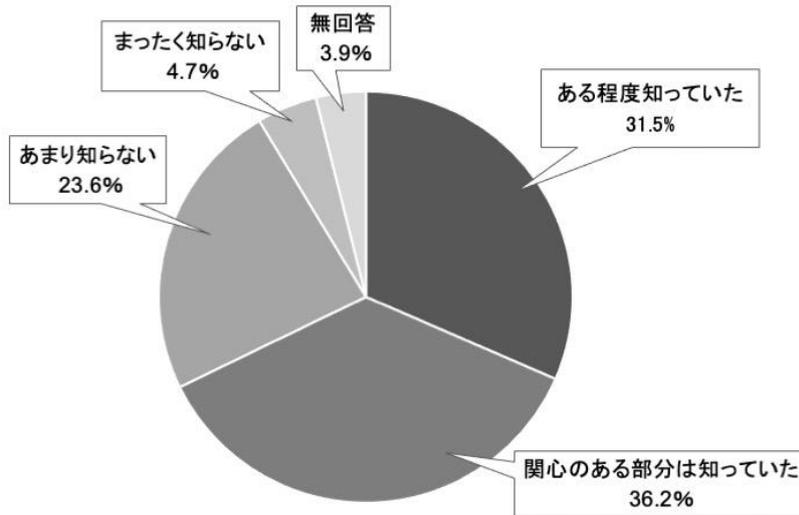
質問 7. 高校で履修した理系科目（複数回答可）



- その他（自由記載）
- ・生物基礎（2人）
 - ・化学基礎
 - ・基礎
 - ・すべての基礎

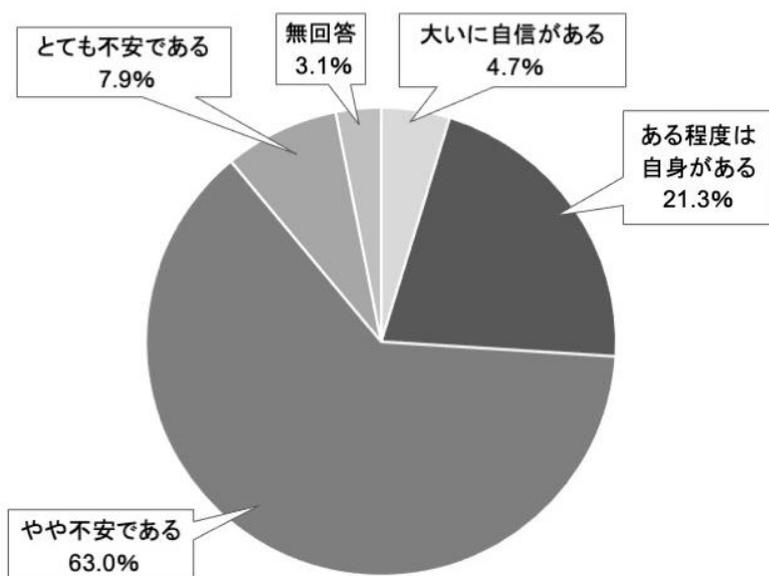
物理	化学	生物	総合理科	その他	無回答	合計*
42人	103人	70人	1人	7人	5人	228人
33.1%	81.1%	55.1%	0.8%	5.5%	3.9%	

質問 8. 入学前に本学歯学部の教育内容を知っていましたか。



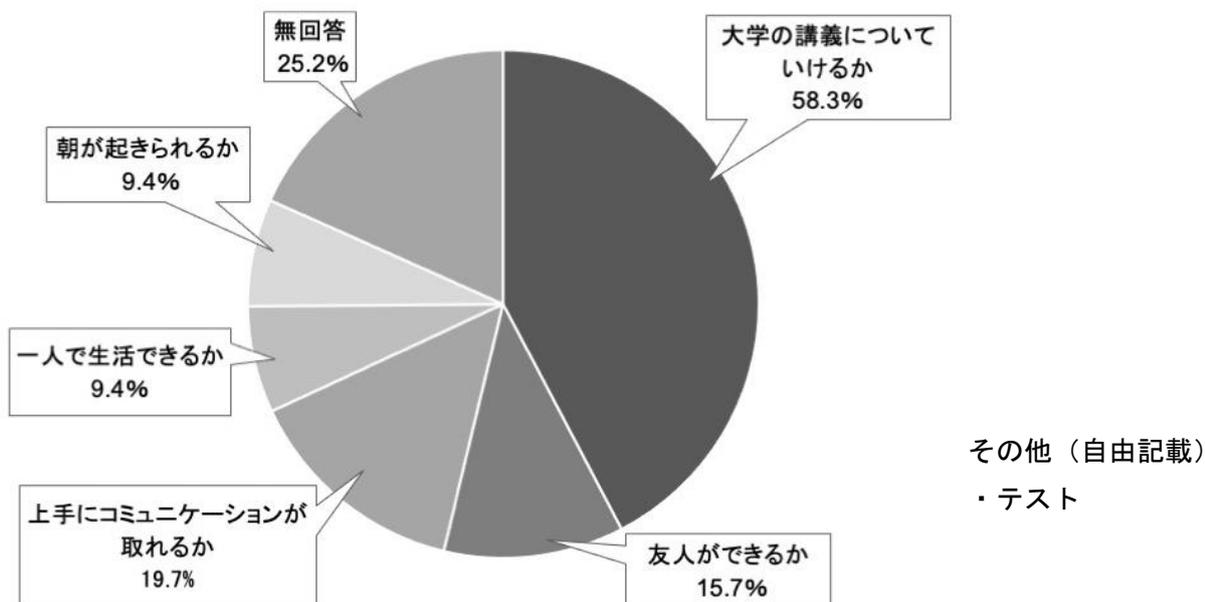
ある程度知っていた	関心のある部分は知っていた	あまり知らない	まったく知らない	無回答	合計
40人	46人	30人	6人	5人	127人
31.5%	36.2%	23.6%	4.7%	3.9%	100%

質問 9. 本学での学習や生活についてどう思いますか。



大いに自信がある	ある程度は自信がある	やや不安である	とても不安である	無回答	合計
6 人	27 人	80 人	10 人	4 人	127 人
4.7%	21.3%	63.0%	7.9%	3.1%	100%

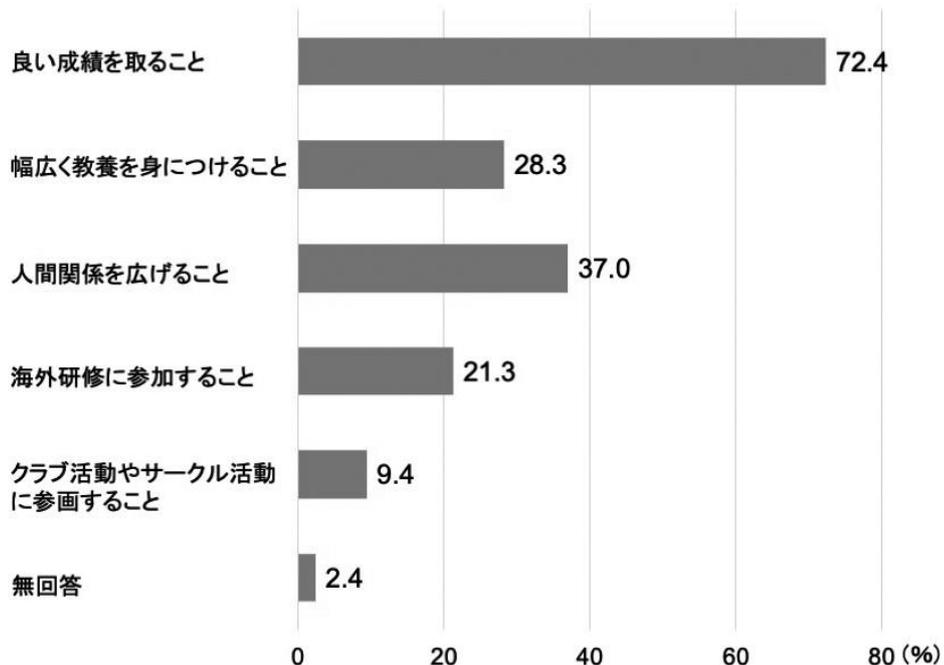
質問 10. 前問 9 で、やや不安、とても不安と回答した人は、どんな点が不安ですか。(2つ回答可)



※ 割合はアンケート提出者数(127 人)を分母として計算した。

大学の講義についていけるか	友人ができるか	上手にコミュニケーションが取れるか	一人で生活できるか	朝が起きられるか	無回答	合計※
74 人	20 人	25 人	12 人	12 人	32 人	175 人
58.3%	15.7%	19.7%	9.4%	9.4%	25.2%	

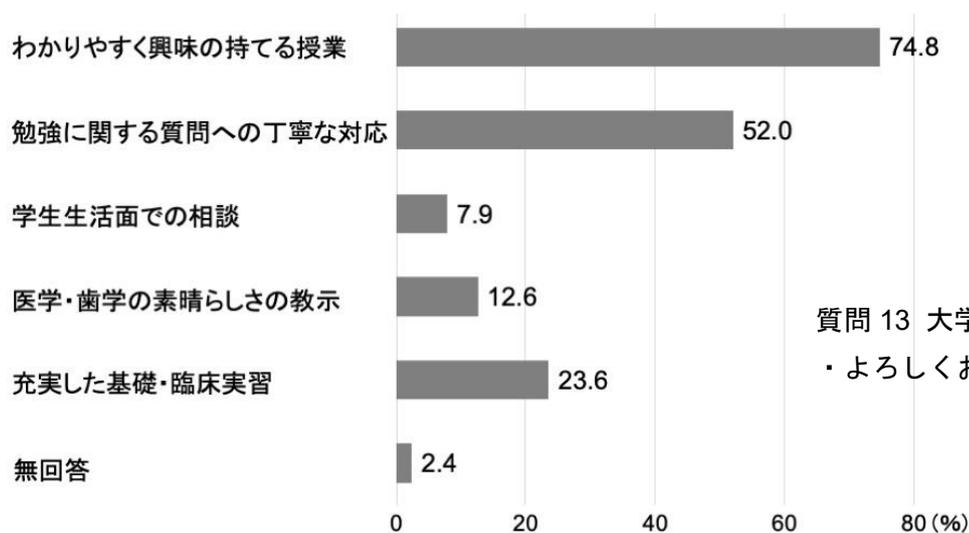
質問 11. 大学生活で特に力を入れていきたいものは何ですか。(2つまで回答可)



※ 割合はアンケート提出者数(127人)を分母として計算した。

良い成績を取る	幅広く教養を身につける	人間関係を広げる	海外研修に参加	クラブ・サークル活動に参加	無回答	合計※
92人	36人	47人	27人	12人	3人	217人
72.4%	28.3%	37.0%	21.3%	9.4%	2.4%	

質問 12. 大学・教員に期待すること。(2つまで回答可)



質問 13 大学への要望など(自由記載)
・よろしくお願いします。(2人)

※ 割合はアンケート提出者数(127人)を分母として計算した。

わかりやすく興味を持てる授業	勉強に関する質問への丁寧な対応	学生生活面での相談	医学・歯学の素晴らしさの教示	充実した基礎・臨床実習	無回答	合計※
95人	66人	10人	16人	30人	3人	220人
74.8%	52.0%	7.9%	12.6%	23.6%	2.4%	

【総括】

歯学部新生の性別では、例年どおり男子学生の比率が高く、朝日大学歯学部の特徴の1つと考えられる。ただし、この性別の回答に対して13人が無回答(昨年度は5人が無回答)であったことは少々考えさせられる点である。近年のLGBTの人権に配慮する世相を反映してこのような性別を問うアンケートには答えないという考えを持っているのかもしれないし、あるいは受験及び入学手続き時点で大学側が把握していることをわざわざアンケートで回答することはナンセンスであると考えているのかもしれない。

新生の入試区分では、総合選抜型(信長入試)、一般入試(一般選抜)は昨年度とほぼ同数であり、大学共通テストプラス(昨年度はセンター試験利用)は昨年度と同じ1人であることから、本年度も国公立大学との併願受験をしたであろう新生は1名のみである。一方で昨年度に比べて大きく変化したと思われるのは、一般推薦の新生は昨年度の32人から19人に減り、指定校推薦の新生が昨年度の20人から25人増えている点である。これは質問5-6の入学を決めた理由とも関連していると推察されるが無回答も昨年度より増えているため、はっきりしたことは言えない。この無回答が多い原因については、複数回受験した新生は自分が合格した入試区分が何だったかを覚えていない可能性が大きく、次年度からは性別と入試区分についてアンケート方式ではなく、入試広報課からデータを提供していただいた方が正確なデータ収集と分析ができると考えられる。

新生の住居が自宅外が過半数である点は他府県からの入学者が多いためであるのが最も多い理由であり、これは本学歯学部の前身である岐阜歯科大学が創立された1971年以来、50年間変わらない傾向である。

朝日大学への入学を決めた理由も多様であるが、「親兄弟、親族に卒業生がいる」が38人に対して「親からの薦め」が52人であるのは、親が歯科医師である場合は、本学の卒業生でなくても自分の子供に「朝日大学への入学」を勧めるケースがあると推測され、また、親が歯科医師である、歯科医師でないにかかわらず、他大学と比較して魅力的な授業料の設定の影響が最も大きいと考えられる。さらに、「海外研修制度が充実している」と回答した者は51人で昨年度より10人増加している。これは日本の歯学部の中で本学の海外研修制度が最も充実していることが受験生に広く知られるようになったことの表れであろうと推察される。

高校で履修した理系科目では、昨年度と同様、ほとんどの新生が「物理と化学」または「化学と生物」を履修しており、また、「本学歯学部の教育内容を知っていた」と回答した者は127人中86人もいる。ところが、本学での学習や生活に不安を感じている者も127人中90人いて、そのうち大学の講義についていけるか不安を感じている者が74人と最も多いことから、歯科医師国家試験が年々難しくなっていることやそれに伴って歯学部の

授業がとてもハードである等の情報も入学前から広く知られているようである。しかし、大学生活で特に力を入れていきたいこととして、「良い成績をとる」(92人)、「幅広く教養を身につける」(36人)と回答しており、ほとんどの新生は歯科医師になることの困難さを承知のうえで本学での学修に対して意欲的・前向きである。そして教員に「わかりやすく興味を持てる授業」(95人)や「勉強に関する質問への丁寧な対応」(66人)、「充実した基礎・臨床実習」(30人)を期待しており、それらの期待に応えられるように責任を持って教育し、建学の精神に則った社会性・創造性・人間的知性に溢れた歯科医師に育てて世に送り出すことこそが朝日大学歯学部教員としての最大の責務であろう。